

「オトナノカタリバ(デザインフェア2017打上げ)」
「デザインフェア2017メイキング」

オトナノカタリバ

「デザインフェア2017打ちげ」

2017.3.10 イイスペースホール

今回の『オトナノカタリバ』は、デザインフェア2017の反省会と打上げを兼ねて、イイテラス10F「イイスペースホール」にて開催しました。打上げの前に企画・事業、広報・研修両委員会でデザインフェアの反省と申し送り事項をみっちりと協議(内容詳細は裏面を参照ください)、打上げ参加者の皆さんとの声とあわせて、次回のデザインフェアに繋いでいければと思います。

「反省会」の垂幕が目立ちます。普段「反省」と縁のない方々が多いので尚更…

写真:古藤、久保 文責:久保



それはホワイトギャラリーから始まった



ノープラン? 行き当たりばったり? いいえ 試行錯誤といいます



最後は極めました 桜アベニュー 「やったね西サン!」



Making of Design Fair

たくらみから、かたづけまで

合同委員会



搬入前のお膳立て



ひと休み



搬入中



初日を待つ…



オープニング

と

抱擁

と

フィナーレ



最後のおかづけ



それぞれの思い





平成28年度 第4回合同「企画事業委員会」「広報研修委員会」

2017/03/10 18:30
イイテラス10Fホール



「広報研修委員会」

出席者：高橋・久保・松元・池田・黒岩・四元（麻）・馬見塚・藏満
古藤・西

1 デザインアベニューの展示について

- ・どの作品が誰の作品か分かり難かった。
- ・パネルなどで主旨や作者の紹介が欲しい。
- ・展示に気が付かない人もいた。

2 入口について

- ・会場の案内図が必用。多くの方に展示場所を聞かれたが何処に展示してあるのかスタッフも分からず対応に苦慮した。
- ・出展者の番号を申し込み順でつけるのではなく展示場所の位置で順番をつけたら分かりやすいのではないか。
- ・インフルエンザの時期なので入口にアルコール消毒を置いてはどうか。（他のイベント会場では置いてあることが多い）
- ・受付にスタッフの私物が置かれていて雑然としている。ハンガーや衝立を利用してお客様から見えないようにしてはどうか。

3 スタッフの役割分担について

- ・役割の分担が大雑把で何をしたらよいのか分からなかった 受付マニュアルを作って欲しい。
- ・担当の表と受付マニュアル（仕事の内容を詳細に）を受付に置いて欲しい。
- ・お手伝いの時間帯をもっと細かく分けたら手伝える人が増えると思う。
- ・後片付けまで皆ですること。（もしくは担当を決めるか）

4 案内について

- ・会場内でイベントの告知があまりされていないので、何時から何があるのか分かり難かった 告知の担当を決めてほしい。
- ・県民交流センター内の告知が不十分である。1Fエレベーター前・地下駐車場に案内板を設置して欲しい。

5 展示場所について

- ・集客が多い（例えば 純心女子短期大学やインテリアコーディネーター協会など）ブースとその他のブースの場所についてお客様の流れを意識した展示場所にして欲しい。

6 SNSの利用について

- ・事前にデザイン協会のアカウントを取り 出展者に情報を公開してもらう。
- ・フェア中も随時情報を流してもらい集客を図る。
- ・SNSでの情報発信を説明会の時に説明し依頼し集客を図る。

「昨年度のデザイン百覧会も大盛況！」

副理事長：西田建一

会員の皆様、出展者の皆様、そしてご来場いただいた皆様方に改めて御礼申し上げます。デザイン協会の時代から数えて26回の歩みです。

当初はデザインフェアという名称で「地方都市での産業振興を目指すデザイン力強化」といった内容でしたが、現在はご存知のように官民共に大きなパラダイムシフトが起こり、大きな変容を遂げました。

その要因は紛れもなくネットの浸透でしょう。生産者、デザイナー、芸術家、そして販売者などの緩やかなつながりが、新しい表現や思いを、どこにいながらも発信できる時代になり、今回の会場も、様々なジャンルのクリエイターが集い、活気あるバザールのような空間が作られたと実感しています。

一昔前、デザインという定義は時代のトレンドを作り出し、マス経済として中央集権的であり、結果として大きな産業価値をもたらすものと思われていました。その価値観は変遷しておりさらに日々移ろいでいます。地方から発信できる価値観と大都市圏からの価値観はいまや違うカテゴリとして人々に認識されていると言えるでしょう。デザイン百覧会がその移ろいを体現し、そして体感できる場であり続けますように。

「企画事業委員会」

出席者：桑代・塩津・西田・小森・小山・古藤・高田・谷宮・山下・四元
久富木原・川邊

1 大ホールの展示について

- ・通路を含めレイアウトよかったです。
- ・換気が悪い、交流センターへ要請必要では、搬入時に臭いの出るもの使っている人がいた。（塗料スプレー）
- ・撤去時原状復帰を。出展者向け説明文の見直しが必要。原状復帰も目立つように書き、協力お願いする。
- ・「テーブル…申し出てください」不要、何十件も問い合わせ電話あり（←きっと真面目な人！）
- ・テーブル収納場所、借り出し～終了後戻すまで手順明記し、説明会でも要請を電源使用についても「1 ブース〇〇W以上、熱源を使う方は申し出を」等明確な表記が必要。
- ・会場見取り図の掲示必要では「出展場所がわからない」が多くかった。

2 中ホールのステージについて

- ・“有料”については交流センターよりクレーム「届出がなかった」
- ・高校生演劇：観覧者は涙涙…／涙した感想を受付スタッフへ一気に述べた方も。（高齢者女性）
- ・観覧者が見込めない時間帯で申し訳なかった。（但し出演料金なし）
- ・外イベントの影響もあり駐車場が大混雑で間に合わなかった親御さんもいた。公共交通機関利用を呼び掛けるなど事前情報が必要。

3 桜アベニューについて

- ・出展者にとっては刺激、いい機会をいただいた。
- ・設営時は不安（布安っぽく見えたり）、花やオブジェや絵が入ったら素晴らしい。
- ・協会からの発信”としてよかったです。次回以降、この形態継続するのであれば門戸を広げ、企画書を出してもらいたいコンペとしてもいいかも。

4 県民ホールのステージについて

- ・観覧者：広いから見やすい／来年もここがいい。
- ・出演者：楽屋があった！（中ホールでは、姿見など他団体の持ち込んだものあっても使えず）
- ・卒業生：出演者数によるかも、今年は出演者が多かった。“ランウェイ”を歩くのがいい。中ホールなら、卒業生ブースを出してショーをしたかった。（県民ホールは大きすぎる）

5 受付について

- ・アベニューへの動線に「サイン」「順路」が必要では、案内の声はかけていたが大ホールへ入ってしまい見逃される。

6 開会式について

- ・オカリナ好評／生演奏よかったです。

6 名刺交歓会について

- ・約80名参加※余剰金で本日打ち上げの抽選会賞品を、出展者から購入。盛り上がった／場所はベスト→来年の予約を。

7 閉会式について

- ・皆さん参加してもらえてよかったです。